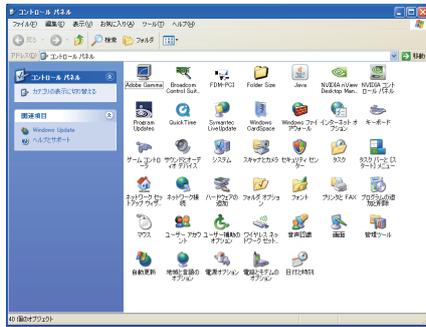
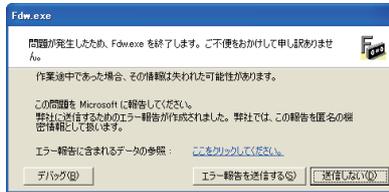


Frame-DIAS II Ver2.85 以前

1. 起動できない	22
2. AVI ファイルが開けない	24
3. 重心や関節トルクが計算されない	25

起動できない

● 1. 起動できない



左のように「問題が発生 ...」というエラーが表示される場合、2とおりの原因が考えられます。

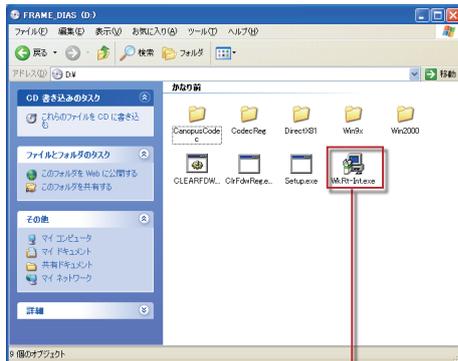
- (1) プロテクトキーのドライバがインストールされていない。
- (2) ハードウェアの設定で、使用していない画像処理ボードを選択している。

[送信しない]をクリックして閉じ、[スタート]→[コントロールパネル]を選択します。

左の図のように[ワイプキー]というアイコンが無ければ、プロテクトキーのドライバがインストールされていません。



コントロールパネルに「ワイプキー」が無かった場合



① ダブルクリックします。

プロテクトキーを挿している場合は、一旦抜いてください。
Frame-DIAS II Ver2.85 の CD をセットして **WkRt-Int.exe** (①) をダブルクリックしてください。



[次へ]をクリックします。



[次へ] をクリックします。



[次へ] をクリックします。



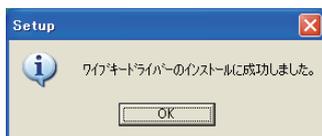
[次へ] をクリックします。



[次へ] をクリックします。



「はい、Readme.txt を参照します。」の
チェックボックスをオフにして、[終了] を
クリックします。



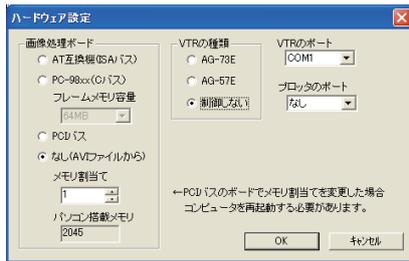
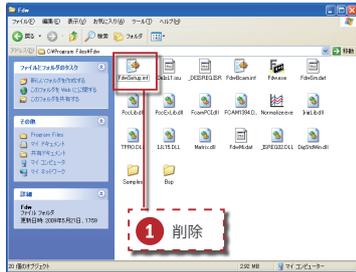
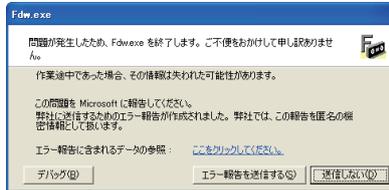
[OK] をクリックしてプロテクトキーを挿し
ます。
ウィザードが表示された場合、「いいえ、
今回は接続しません」「ソフトウェアを自
動的にインストールする」を選択して進め、
[完了] ボタンをクリックします。

これでプロテクトキーのドライバがインス
トールされましたので、再度 Frame-DIAS
を起動してみてください。

Frame-DIAS よくあるご質問

起動できない

コントロールパネルに「ワイプキー」があった場合



ハードウェアの設定で、使用していない画像処理ボードを選択すると、このエラーが発生します。

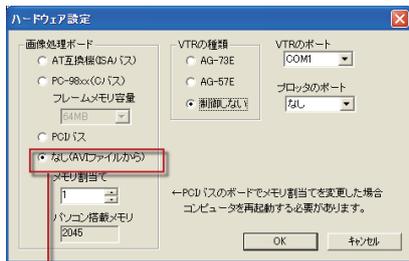
マイコンピュータを開いて、以下のファイルを削除します。

C : ドライブ

- Program Files フォルダ
- Fdw フォルダ
- FdwSetup.inf (1)

再度 Frame-DIAS を起動すると「ハードウェア設定」画面が表示されます。左図のように設定し [OK] をクリックすると Frame-DIAS が起動します。

● 2. AVI ファイルが開けない



「はじめに」の「CODEC(コーデック)」の項で説明したように、AVI ファイルを扱うには VFW という方式と DirectX という方式がありますが、Ver.2.85 以前の Frame-DIAS では VFW 方式の AVI しか開くことができません。(DirectX を選択することはできません)

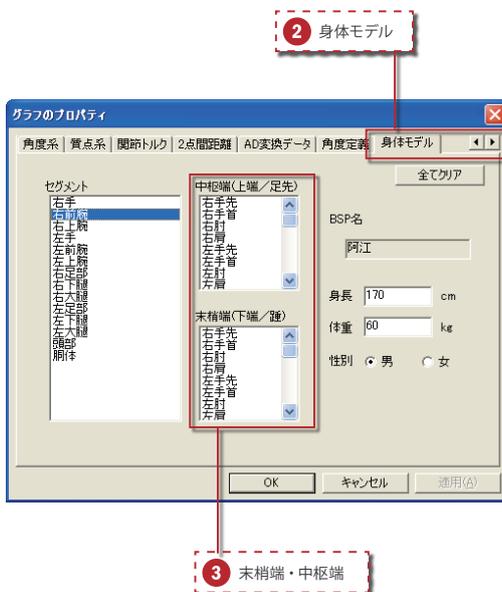
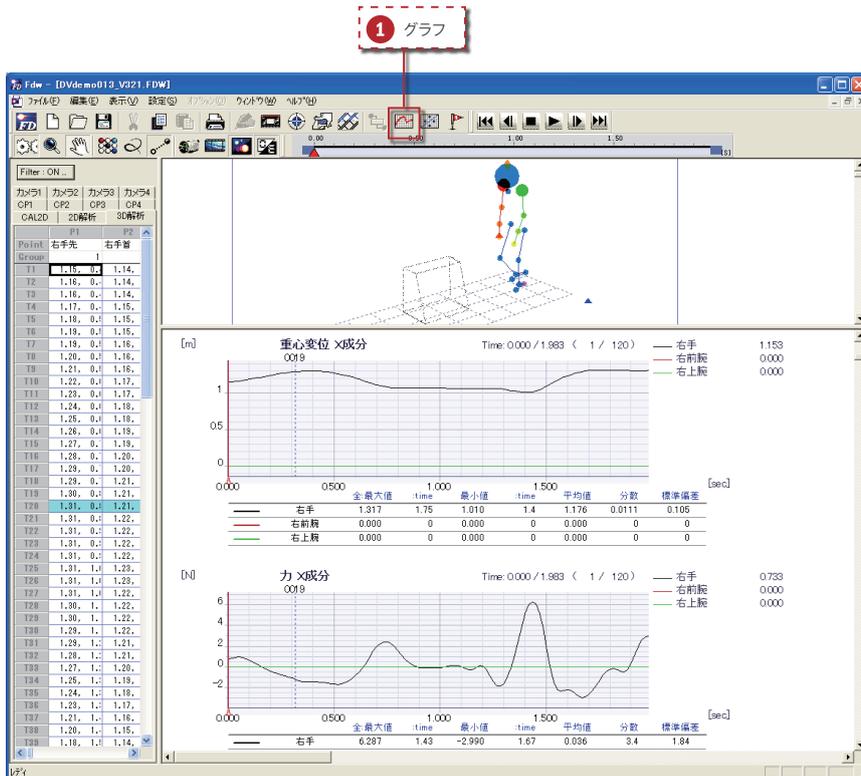
Frame-DIAS が起動できる状態であれば、[ファイル]メニューの[閉じる]を選択して全てのデータを閉じた後、[ヘルプ]メニューの[ハードウェア設定]を選択することで「ハードウェア設定」画面を表示します。

※起動できない状態の場合は前項を参照してください。

[PCI バス] が選択されていた場合は、
[なし (AVI ファイルから)] (2)
を選択してみてください。

● 3. 重心や関節トルクが計算されない

下図のように「スティックピクチャのデザイン」で重心を表示するように設定しても原点に表示されてしまう、また、質点系のグラフを描いても全て0のグラフが表示される場合があります。



スティックピクチャ上の重心の表示や質点系の解析グラフ、関節トルクのグラフを表示するには、その計算に使用する全点がデジタイズされ、身体モデルでセグメントの端点が設定されている必要があります。

【設定】メニューの【グラフ...】を選択するか、ツールバーの【グラフ】(1)をクリックし、グラフのプロパティを表示します。タブの右にあるスピンボタンで一番右まで移動し、【身体モデル】(2)タブをクリックします。

左図のように、末端端・中枢端(3)のポイントが選択されていないと、そのセグメントの重心が計算できません。解析に使用する全てのセグメントの末端端・中枢端のポイントを指定してください。

